

セ ボ ネ

タガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

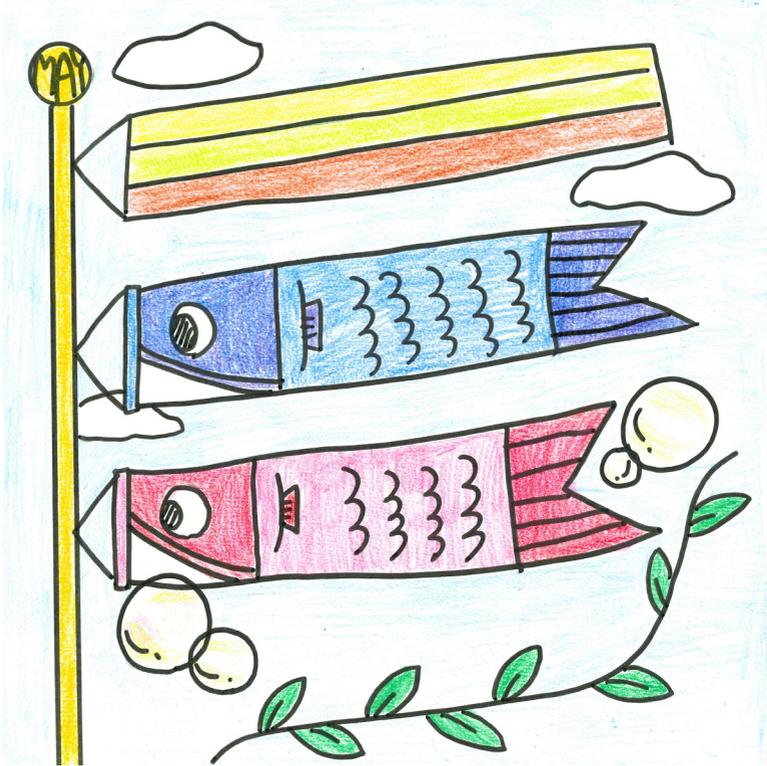
2022.5 No.217

今月のピックアップ

特集●

ご存知ですか？ 夜間中学
～「こんばんは!!」を観て語り合う～

まちの市民力！ ●シモキタ園藝部
キラリ世田谷人 ●中泉 元尋さん



イラストレーション ● HAPPA
4月からインテリアコーディネーターとして働いている社会人1年生。
生まれも育ちも世田谷区の世田谷ガールです。

●わたしの世田谷
小・中・高世田谷区の学校に通って
いました。自然が豊かで、心優しく個性
あふれる人が多い世田谷区が大好きで
す。

ご存知ですか？ 夜間中学 ～「こんばんはⅡ」を観て語り合う～

2003年に制作されたドキュメンタリー映画「こんばんは」(森康行監督)は、山田洋次監督の「学校」のモデルにもなっている見城慶和先生が教壇に立つ墨田区の文花中学校夜間学級を舞台にした92分の映画。年齢も国籍もたどってきた歴史もさまざまな人たちが、交わり合い、目を輝かせて学ぶ姿がとても印象的でした。

今回上映した「こんばんはⅡ」は、森監督による37分の映画。上映会のきっかけを作った「夜間中学と教育を語る会」の澤井留里さんは、映画を通じて多くの人に夜間中学を知ってほしいと語ります。



「こんばんはⅡ」のシーンから

「家が貧しくて学校に通ったことがない。履くものも服もなかったのです」と安藤さん。「給食代が払えなくなって学校に行けなくなった」と朴さん。貧しさが原因で学校に通えなくなった人たちの学びの場である一方、不登校になった子どもたちを受け入れるのも夜間学校の新しい役割です。

いじめで学校に行けなくなった子どもは、文科省が方針転換した2015年までは、形式卒業させられると夜間中学には行けないことになっていました。映画の中では、松戸、柏などの自主夜間中学で学びの時間、壊れた心をとりもどしていることが描かれています。

1972年の日中国交正常化以来、残留孤児やその子どもたちが日本語を学ぶ需要が増えてきました。また、ミャンマーやカンボジアからの難民のひとたちも夜間中

学にたどり着きます。ポルポト政権下で学ぶ機会を奪われたカンボジアの方は、「学校はいろんな勉強をし、友だちと出会う場。読み書きができると未来が広がります」と語ります。

議員会館での集会で夜間中学での経験を語ったフィリピンの戎香里菜さんは、「25年間学校に行きたい、学びたいと心の中で叫んでいました」。淡路島の友人のところに行き、子ども多文化サポーターになり、そこで神戸にある夜間中学を知ることになりました。

「子ども時代にできなかったことをここで味わえる。学んで自分の世界が広がっていき、夢に向かって再出発できます。夜間中学は私の宝物です」と目をキラキラさせながら語っていました。

学校が近づく嬉しくて走る！

上映後のトークでは、三宿中夜

夜間学校設置状況（2021年4月）

茨城県	常総市
埼玉県	川口市
千葉県	市川市、松戸市
東京都	足立区、葛飾区、墨田区、世田谷区、大田区、荒川区、江戸川区、八王子市
神奈川県	横浜市、川崎市
京都府	京都市
奈良県	奈良市、天理市、橿原市
大阪府	大阪市、堺市、八尾市、東大阪市、守口市、豊中市、岸和田市
兵庫県	神戸市、尼崎市
広島県	広島市
徳島県	徳島市
高知県	高知市

夜間学校設置状況 (2021年4月)

間学級元教諭の中川恵理さん、卒業生のAさん、この会の仕掛け人でもあった澤井留里さんがそれぞれ夜間学級に対する熱い思いを語られました。

中川さんは、「二十四の瞳」を読んで、教師になりたいと思いい、大学生の時に訪れたネパールで、10歳で働いていたゴレちゃんに出会い、裸足でも目はキラキラしていた彼のことを伝えたい思いで社会科の教師になります。「こんな

んは」で見城先生を知り「見城先生は学校が近くなると嬉しくて走る、という話をしていたのに、私は逆に学校に近づくと足が重くなっていた」と。そして夜間中学の先生になりたいと思いい、4年越しで三宿に入りました。「三宿で8年、大田区の糀谷で4年勤務し、見城先生の走る気持ちがかかるようになりました」。

夜間中学では外国籍の10代から50代の人に日本語も教え、一人ひとりの事情を知ることになりました。「祖父が日本人と戦ったという人もいて、アジアの生徒に日本人としていつも申し訳ない気持ちになりました。不登校だった方が、様々な国の生徒の生きざまにふれて、自分らしく生きていいんだ、と本来の自分の力を取り戻した姿を見て感動したことは数知れません。知れば知るほど人間として尊敬する人ばかりでした」と語りました。そして、「夜間中学の生徒の後ろにはたくさんの方の支援す

る人たちがかわり寄り添っています。夜間中学はこれからの日本の学校の指針になると思います。夜間中学を知らない人がまだまだいます。ぜひその存在を広めていただけるとありがたいです」と訴えました。

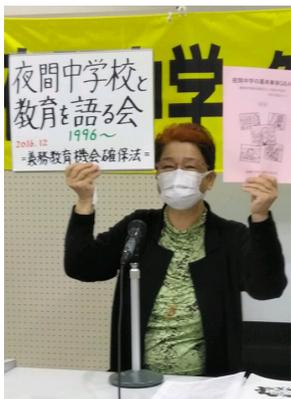
学ぶ夢が実現されました

Aさんは夫の母親が大陸に取り残された残留婦人で、30数年前に中国から日本にきました。「日本語がわからないまま、電機メーカーに就職しました。娘は6歳で、日本語はわからなかったけれど、小学校の先生が個人で責任を持って教えると言ってくださいました。私も娘と同じ教科書を使って学びました」。今は福祉事務所で中国の人たちの相談員をし、地域の会で中国からの帰国者を支援する活動も26年続けていらっしやいます。10年前に中川さんがその会の方々数名に夜間中学の話をす

る機会がありました。

Aさんが学校に行きたかったのは、1966年、小学6年生の時に文化大革命があり、中学校ではまったく勉強をすることができなかったからです。そして2013年4月に、三宿中学に入学。

「若い生徒ばかりで、60になりアルファベットも書けなかったがついていけないか不安でしたが、本当に優しく親切に丁寧に教えてくださいました。一時間目は仕事の色が違って、目標は一緒に、学びたい、いつか人の役に立ちたいとみんな思っています。毎日が充



紙芝居を使って話す澤井留里さん

実して幸せでした。わからないところがわかるようになる学校は人豊かにする場所です。仕事と勉強の両立は大変でしたが、たくさんいい思い出があります。失われた中学時代は戻ってきませんが、学ぶ夢を実現してくださった先生に感謝です」と結びました。

「学習者が中心」の学び

澤井留里さんは、パワーポイントならぬ紙芝居でのお話。65歳でリタイアするまで、21年間夜間中学で教え、1996年から「夜間中学と教育を語る会」で活動されています。都内に設置されている8つの公立夜間中学のある自治体での「こんばんはⅡ」上映を2年間、7校まで実施してきましたが、世田谷だけが残っていました。

2018年に「義務教育機会確保法」の成立に大きくかわった元文科省事務次官の前川喜平さんをお招きして大きな集会を開き、

三宿中学が地元にあるという世田谷でしたが、今回の世田谷上映会は、機が熟して実施、「出会うべくして出会った」感があります。

「『学習者が中心』、夜間中学の魂です。日本の近代は、教育も上が決めたものに下が従うというものでしたが、夜間中学は真逆です。勉強したい、学びたい。自分の必要から学ぶ。それが自発性のある学びです。」映画のシーンにもありましたが、「来る者は拒まず」。聴覚障害の人がきたら手話通訳で対応する。学習者の必要性に合わせます。

そして、夜間中学の現状とこれからの課題を語ってくださいました。「三宿も生徒数が減っています。2015年に86人だったのが、2020年には32人。さらなる広報とともに教育条件の改善も必要です。標準法によると学校に養護の先生は一人となっていて、三宿でも昼間に一人いたら夜はおけない。昼とは別においてほしいと切

実に思います。

もう一つは、せっかく夜間中学にたどり着いてもお金のために入学できない、続けられない人が出ないように、就学援助の充実をさらに推し進めてほしい。全国に夜間中学がないのは人権の問題と、日本弁護士連合会に意見書を出してもらいました。これが確保法の成立につながったと思っています。

力になった弁護士さんの一人、児玉勇二さんも参加してくださいました。

映画で夜間中学を知ってもらおう

フリーのデイスカッションで



多くの区民に知ってほしいと
保坂展人区長

は、三宿中で仕事をされた経験のある先生方が何人も参加され、それぞれに夜間中の魅力を語ってくださいました。「生徒たちとの日々は楽しい。三宿に居座っています」。「三宿には広域から通ってくる生徒がいます。最近、世田谷にあることが知られていないかもしれませぬ。ぜひ区外にもお知らせください」と。

終わりごろに駆けつけてくれた卒業生のTさんは、「28歳まで学べなかった。本当に楽しい学業生活を送ることができました。皆で食べた給食もきっかけの一つとして、今は給食関連の仕事についています」と話しました。

最初から話を聴いていた保坂展人世田谷区長は、「三回ほど三宿にはいきました。32人にまで減ったことを今日知りました。世田谷では公設民営のほっとスクールができ、先ごろオープンした若林の総合教育センターにも、不登校特別校が設置されるなど、区内で受

け皿が増えてきたというのも減少の原因かと思えます。とても深い内容だったので、広い会場での上映会で、多くの区民に知ってほしいですね」との感想を述べました。

澤井さんは「この映画を営利目的でなければ、どんどん上映してください。『夜間学校と教育を語る会』から、行って話したいという人たちもいます」。当事者の方のお話を聴くのが一番です。「こんばんはⅡ」を制作した意図は、観て共に語ること。いろいろな場で「知るため」の手立てにしたいだけだと思えます。

今回、誰もが強調していた「勉強したい」「学ぶのが楽しい」というのは、教育の原点です。そして、夜間学級は多い時でも一クラス10人。「学び」のあるべき姿がここにある、と感じます。「学ぶってなんだろう？」夜間中学から学ぶことはたくさんありそうです。

(文責／編集委員 星野 弥生)

園藝で新しいシモキタの
まちと文化をつくる

シモキタ園藝部



まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



小田急線の線路跡地での開発が進む下北沢。新しい商業施設だけでなく、多くの緑があることにもお気づきでしょうか。その植栽管理の一部を担っているのがシモキタ園藝部です。今回は事務局を担っている川崎光克（かわさきみつよし）さんにお話を伺いました。

シモキタ園藝部は、元々、川崎さんの所属する株式会社フォルクが線路跡地の空間デザインを担当し、そこで生まれた植栽の管理について、業者任せにするのではなく地域住民と一緒にやっていきたいと考えました。その提案をするため、区・事業者・住民の検討の場である北沢PR戦略会議のシモキタ緑部会を紹介してもらったのが

きっかけです。賛同した部会のメンバーと共に、植栽の管理を地域の方々と考えるワークショップを2019年10月から4回行いました。20名ほどの参加があり、コアメンバーが見えてきたところで、シモキタ園藝部を2020年3月末に立ち上げました。

現在は、線路跡地の植栽管理をはじめ、コンポストによる生ごみの循環、シモキタ園藝学校での植栽の担い手育成などの活動を行っています。メンバーのやりたいことを大事にしつつ、「循環を大切にして無駄を出さないこと」を全体のコンセプトにしているそうです。2022年4月には新しい拠点が下北沢の南西角地に完成、園

芸ワークショップの開設を検討するなど、さらに活動が広がっています。そのため任意団体では限界があると感じ、2021年8月に一般社団法人化しました。今では2週間に1回の運営会議を行い、毎週のように何かしらの活動やイベントが行われているとのこと。

これからの活動について、川崎さんは、拠点での「古樹屋」という事業の準備を進めています。様々な事情で育てられなくなった植木を預かり、それアップサイクルして販売する。このような形で、地域の中で緑が循環するような事業モデルをつくりたいとのこと。

活動を始めて2年で、登録会員がすでに100名近くになり、これまでの活動でも、メンバーの持つ地域のネットワークに助けられてきたと言います。多くの人々の緑への関心の高さが伺える一方、そこからさらに広がりが見られ、活動が展開していくことに期待です。



地域デビュー「オレ」版
～定年退職後のあるオヤジの過ごし方～

中泉 元尋さん
なかいずみ もとひろ

や
せた人が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵なたを
ご紹介します
取材●久我 慶子

「退職後は、学生時代趣味でやってたギターを活かして活動したい」と思っていた中泉さん。退職して地域をながめたら知らないことだらけ。「まずは情報収集！」で、世田谷区役所へ。『生涯現役フェア2007』がある事を知って行ってみただけ自分にピンとくる活動には出会えなく、まだ飛び込めませんでした。

「何かしたい」の思いはあるものの出会いは難しい。しかし、アテンナを張っていたら、区報の「地域デビュー体験講座」の見出しが目に入りました。3つ体験し、「いなな会」に入会。選んだポイントは、①生活のリズムができる②

コロナ禍でお休み中。活動再開の日を楽しみに練習に励んでいます。そして、ご家族で結成したバンド「オールドハワイアンズ」でも年20回ほどの演奏活動をしています。音響機器は、ラジオ少年だった自分が全て独学で製作、練習場所も作りました。中泉家のかつての子ども部屋は遮音工事をして、今や音楽スタジオ。月2回地域の人が集います。残念ながら体力の限界や、家族それぞれの時間を合わせるのが難しくなってきたことで「潮時」だと感じてるけど、長男夫婦、孫、妻と演奏できる幸せな時間を過ごせたとこれまでを振り返ります。

身近な場所で活動できる③趣味を活かすことができるの3つ。この会の活動は、デイホーム、サロン、施設等で毎月演奏がありますが、今はコロナ

中泉さんの奥様が開設した「とことこサロン」は、社会福祉協議会の地域支えあい活動拠点となっている『上馬塩田ふれあいの家』で毎月開催しています。こちらの活動も長く続いています。デイホーム上馬で演奏し、利用者さんに聞いていただくことがメンバーの励みとなり、お茶とおしゃべりに花が咲くのも楽しみの一つ。こちらもコロナ禍で休演中で、再開が待ち遠しいです。

2020年3月、駒澤大学主催「第1回みんなの発表会」で演奏の機会がありました。こちらもコロナ禍で第2回目はいつになるのやら。そんな音楽三昧の中泉さんですが「学校時代の音楽の成績は5段階の1だよ」と笑います。

町会役員、避難所運営委員、青少年地区委員など、地域の事を熱心になさってきた中泉さん。いくつかの引退はあるけれど、趣味である音楽活動はまだまだ続けます。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわか

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生〜高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、新型コロナウィルス感染防止のため、オンラインでの学

らないという方は、電話でご相談ください。お話を聴きながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっています。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 小学4年生男子の学習サポートをしてくださる方募集

上北沢にお住いの小学4年生の男子の子が、学習のサポートを求めています。図工や音楽が好きですが、算数や国語などは皆についていけず困っています。塾などに通うのは難しいので、優しく関わっていただける方、ご連絡をお待ちしています。

●日時／週1回 水・土を除く
●場所／上北沢
●交通／上北沢駅徒歩5分
●条件／男女不問、交通費応相談
●問合せ／梅丘ボランティアピュ
ロー 担当 石川
TEL 3420・2520
urnebora@otagaisama.or.jp

京 小学5年生男子の学習サポートをしてくださる方募集

上北沢にお住いの小学5年生の男子の子が、学習のサポートを求めています。男子の子は様々な分野に興味を持っていますが、学校に行けない時もあり、勉強のわからないところがあります。今は特に算数(割り算のひっ算)を学びたいと思っています。粘り強く教えてくださる方、ご連絡をお待ちしています。

●日時／週1回火・木 16時半〜
●場所／上北沢
●交通／上北沢駅徒歩5分
●条件／男女不問、交通費応相談
●問合せ／梅丘ボランティアピュ
ロー 担当 石川
TEL 3420・2520
urnebora@otagaisama.or.jp



中学2年生の男子中学生の 学習支援をしてくれる女性を募集

苦手教科のうち、特に国語の学習支援を自宅でお願いでできる方を募集しています。集中することが苦手なので、じっくり気長に教えてくれる人が良いです。電車や歴史(日本の戦国時代)が好きなので、ひと息つく時間は、そんな話もできると嬉しいですよ。

- 日時/月曜18時〜1時間くらい
- 火・木は応相談
- 場所/自宅
- 交通/祖師ヶ谷大蔵徒歩11分
- 条件/女性
- 問合せ/祐ボランティアビューロー準備室 担当 久我
- TEL 6411・4007
- kinutabora@otagaisama.or.jp

東 小学生の登下校に 付き添ってくれるボランティア募集

等々力にある児童福祉施設が、小学生の登下校に付き添ってくれるボランティアを探しています。施設の職員1名と一緒に、30〜40分ほど歩いて送迎します。学校のある日は毎日送迎しますが、週一回から、朝・夕のどちらかでも構いません。たくさんの人と関わることで、子どもの成長につながるばと思っています。子どもが好きな方、子どもと関わりたい方など、ご応募お待ちしております。

●日時/月曜日〜金曜日朝・夕、土曜日の朝(月1回)

- 時間帯/(朝)7時25分施設出発〜8時10分頃まで
- (夕)13時〜16時半頃まで(曜日により下校時間変更)
- 場所/小学校から等々力の施設まで徒歩35分程度
- 条件/交通費支給、施設にてボランティア保険に加え
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー
- TEL 3707・3528
- tanaborara@otagaisama.or.jp

東 土曜日に遊んでくれるお兄さん・お姉さん募集

特別支援学校に通う小2の男の子が、土曜日に一緒に遊んでくれるお兄さん・お姉さんを探しています。元気に外で遊ぶのが好きですが、学校のない土曜日は家で過ごすことが多く、寂しい思いをしています。一か月に1、2回でもいいので、外で思い切り体を動かしたり、散歩に連れて行ってくださると嬉しいです。お兄さん・お姉さんが大好きな、人懐っこい男の子です。

- 日時/土曜日午後(月に1〜2回)
- 場所/自宅(等々力)や付近の公園など
- 条件/大学生〜30才くらいの方
- 交通費支給
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー
- TEL 3707・3528
- tanaborara@otagaisama.or.jp

有償スタツフ募集

京 学校生活サポーター募集

中学1年生の女の子の学校生活をサポートしてくれる方を求めています。女の子は神経難病で人工呼吸器を使用し、大きめの車椅子で通学します。授業のサポーター、トイレの介助など、女の子が充実した学校生活を送れるようお力添えください。短い言葉とタブレットを使ってコミュニケーションします。友だちとの交流も優しく見守ってください。

別途、登下校のサポートをしてくれる人も募集します。まずはお

- 問い合わせください。
- 日時/月〜金は16時まで、水は15時まで、土は12時まで
- いずれも8時20分から
- 場所/千歳鳥山駅近辺の中学校
- 条件/女性 時給1170円+交通費支給(1000円まで)
- 問合せ/祐ボランティアビューロー準備室 担当 久我
- TEL 6411・4007
- kinutabora@otagaisama.or.jp

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

有償スタッフ募集

小京 障害者通所施設での給食調理員募集

障害者通所施設（東北沢つどいの家）での、給食調理員を募集しております。工場で調理された食材が届くので、包丁を使って調理するものは無く、主な仕事は、炊飯、味噌汁作り、湯煎した食材等の盛り付け、片付け、清掃です。簡単な作業ですので、資格や経験は必要ありません。温かい給食提供で、通所利用者様と一緒に支えてくださる方、ご連絡お待ちしております。

●日時／月、火、木、金、土のうち週2日以上 10時～14時

●場所／東北沢つどいの家（世田谷区北沢4-24-22）

●交通／下北沢駅、笹塚駅徒歩10分

●条件／時給等はお問い合わせください。

●問合せ／東北沢つどいの家

担当 橋

TEL 3465-1832

enzyhouse@ybne.jp

https://sudoku.tokyo/higashikitazawa

講座・その他・募集

小 もっと語ろう不登校 Part 267

これまで26年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなりませす。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／5月7日（土） 14時～

●場所／NPOフリースクール僕

●交通／梅ヶ丘駅徒歩10分

●条件／事前申し込み制

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 高橋

090-39005-8124

fbstou@ahoco.jp

せたがやチャイルドライン専用WEBページ完成

せたがやチャイルドラインの専用WEBページができました！パソコンやスマートフォンからご覧頂けます。受け手養成講座の申し込みも開始しており、専用WEBページからお申し込みできます。ご参加お待ちしております。



せたがやチャイルドライン 検索

上記掲載記事は4月16日時点の情報です。変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

小 代田ビューロー「近所カフェ」 「落語で人形劇 ちり」とてちんの活動を見てみよう」

落語を人形劇でどうやってやるの？ 実はいろいろな工夫があります。ゆつくりおしゃべりしながら、落語と人形劇の仕掛けを楽しんでみませんか？

- 日時／5月21日（土）13時～16時
- 場所／代田ボランティアビューロー2階
- 交通／世田谷代田駅西口すぐ
- 参加費／100円（お茶代）

どのお子さんにとっても、自分の力を十分に発揮できる環境で過ごすことが大切です。そのために私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

ボランティア活動に関心はあつたけど、今までできっかけがなかった、「上手に関われるか自信がない」という方でも大丈夫です。子どもと関わるときのポイント、発達障害、知的障害について一から学べる講座です。

※事前申込制です。

●日時／6月23日、6月30日、7月7日（毎週木）13時半～16時

サポートを求めている 子どもに寄り添うボランティア養成講座（全3回）

- 申込み／電話かメールで。メールは件名に、「5/21ちり」として「ちん」とし、本文にお名前と電話番号を明記して下さい。
 - ※事前申し込み制です。
 - 問合せ／代田ボランティアビューロー
- TEL 3419・4545
dtabora@otagaisama.or.jp

- 場所／梅丘ボランティアビューロー
 - 交通／梅ヶ丘駅徒歩5分
 - 参加費／500円（資料代）
 - 条件／電話・FAX、メールは件名「子どもボラ講座申込」で①氏名②住所③連絡先④年齢（く代）⑤何を見てを記載
 - ※5月20日受付開始
 - 問合せ／梅丘ボランティアビューロー
- TEL 3420・2520
unebora@otagaisama.or.jp

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

①寄付・ご支援のお願い
せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修をうけたボランティアです。

バザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

●※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売
受け手講座の内容をまとめた講義集「子どもに育ててもらったおとなたち」をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は「名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン

TEL 5712・5101
childline@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすどころ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるどころ●

- 地域障害者相談支援センター ぼーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるね！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

6月23日から、サポートを求めている子どもに寄り添うボランティア養成講座を開催します。ボランティア活動を始めてみたい方、子どものために活動したい方など、ご参加お待ちしております。詳細はP11です。

◆ふらっと& withより

ケアセンターふらっとではコロナ禍でも活動を縮小するのではなく、何ができるのか、日々メンバーの方々と相談しながら過ごしています。ボランティアの方もどうぞおいでください。そして看護師募集しています。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

P10でもご紹介しましたが、せたがやチャイルドラインの専用WEBページを開設しました！また、受け手養成公開講座の募集もしていますので、ご参加お待ちしております。

■せたがやチャイルドラインの専用WEBページ、見てくださいましたか？ せたがやチャイルドラインを知っている方も、そうじゃない方も、ぜひご覧ください！

■5月になり、春真っ盛りですが、急に寒くなったり、夏みたい気候になったりして、体調管理が大変です。皆さんも、ご愛ください。

■個人的に購入した MacBook Pro の最新版の性能がすごくて、写真や動画の編集がスムーズでいい買い物をしました。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

